



Vol. 04

出雲 貴文 氏
社会医療法人社団木下会千葉西総合病院薬局長
医療経営士3級

実践研究講座

講師インタビュー

薬剤部門の役割を伝え ともに考えるなかで 職種を超えた相互理解を深める

医療経営士試験の合格者が1万6000人を超え、医療経営士は「量の拡大」から「質の向上」のフェーズへの移行が求められている。そうしたなかで株式会社日本医療企画ヘルスケア経営学院では6月から、医療経営士の専門性を高めるための継続学習の場として、一般社団法人日本医療経営実践協会認定の「医療経営士実践研究講座」をスタートする。本コーナーでは、講座スタートを記念して講師を務める医療経営士にインタビューを行う。第4回は、「実践研究!『薬剤部門のマネジメント』」を担当する社会医療法人社団木下会千葉西総合病院薬局長の出雲貴文さんに登場いただく。

時代を先読みするには
アンテナを張り、学ぶこと

6月からヘルスケア経営学院「医療経営士実践研究講座」がスタートします。どのように捉えておられますか。

医療の現場にいれば、診療報酬改定や介護報酬改定、医療技術の進化、医療情勢や政策の変遷など、さまざまな変化に対応しなければならず、そういう意味で、継続学習が欠かせないことは言うまでもありません。ただ、診療報酬一つとっても、改定後にその対応に追われるのではなく、これからの医療の方向性を捉え、自院はどんな取り組みをすべきかを先読みすることが重要になってきています。先読みをするには、アンテナを高く張ってさまざまな人の話を聞き、情報収集する、自ら学ぶことが不可欠であると考えています。

医療経営士の資格取得者のバックグラウンドはさまざまで、それぞれの視点があります。今回の実践研究講座についてもプログラムを見て「業務に関係ない」と感じるテーマなどもあるかもしれませんが。しかし、この機会に自分には

あまり関係ない、聞いてもわからないだろうと思っている分野の受講を通じて、そこから新たな気づきが生まれることも期待できます。普段はかかわっていない分野でも、医療経営士という共通点に基づいて学ぶことができるという意味では、継続学習のなかで新しいトピックスを開くことができる良い機会になると感じています。

チャレンジすることが 人間力を高める

出雲先生は同講座のなかで「実践研究!『薬剤部門のマネジメント』」を担当されます。講座の内容や重点的に学ぶ分野を教えてください。

一つ目に、薬剤師がプラスアルファで取得できる認定資格・専門資格の種類と、取得することにより病院でどのような活躍ができるかをまとめてお話ししようと思っています。認定資格・専門資格のなかには診療報酬の要件として定められているものもありますが、そうではないものもたくさんあります。そうした資格を有した薬剤師が院内でどのような役割を担うことができるのかを共有してい

ればと考えています。

二つ目のテーマとして薬剤師が関連する診療報酬について解説します。病院勤務の方であれば自院でそれらを算定しているかを確認いただいたうえで、加算が算定できている場合や算定数が少ない場合にはその理由や背景をディスカッション形式で考えていければと思います。企業勤務の方にとっても、自社がかかわっている病院がどのような診療報酬を算定しているのかを知ることは営業をするうえで役立つはずです。また、加算を算定するために必要な

体制づくりや薬剤師を納得させ、協力を得るための方法についてもアドバイスできると思います。

三つ目は、調剤機器の費用対効果です。医療安全や効率化といった視点から調剤業務の自動化は不可欠ですが、調剤機器は非常に高額で、費用対効果をどう考えるかは医療経営士にとって重要な視点です。そうしたところを、私たちは薬剤師がどのように考えているか、現場の視点を伝えつつ、一緒に考えていく予定です。

最後に、同講座への参加を検討している医療経営士にメッセージ

ジをお願いします。

薬剤師が病院のなかで何をしているかを理解してもらえない部分があるのが現状です。医師の処方箋に基づいて調剤業務を行い、患者さんに服薬指導をしているというのはイメージが湧くかもしれませんが、それ以外にどのような役割を担っているのか、一般の方にはもちろん、病院に勤めている方にも知られていないと感じています。薬剤師の役割や病院への貢献を伝えるなかで、職種を越えた相互理解につなげたい、というのが、私が講座を通じて一番伝えたいことです。

私も医療経営士3級を取得しましたが、そのなかで他職種・他業種の役割を理解し、病院全体を俯瞰して見るきっかけとなる資格だと感じました。「資格を取得してどんな意味があるのか」「講座を受けて何か良いことがあるのか」と考える人もいるかもしれませんが、私自身は資格を取得し、継続して勉強すること自体がその人の人間力を高めることにつながっていると考えています。ぜひ、そうした思いで参加していただければうれしいですね。



いずも・たかふみ ● 1997年、日本大学薬学部卒業後、千葉西総合病院薬剤部入職。2009年、同院薬剤部長(現在は薬剤科に組織変更)。14年、徳洲会薬剤部北関東ブロック長に就任。15年、千葉県病院薬剤師会医療政策委員、16年、同委員会副委員長。認定実務実習指導薬剤師、医療経営士3級

本物の実践力を身に付け、病院経営を支える人財を育てる

2019年6月開講 医療経営士実践研究講座

実践力が身に付く3つのポイント!

- ★医療経営の現場を熟知した医療経営士から学べる!
- ★短期間で実務能力をあげるカリキュラム!
- ★双方向型の効果的な授業スタイル!

※受講者募集中! 詳細、申し込みはこちらから
→ <http://hcmi-s.net/>

出雲 貴文 先生の担当講座はコレ

医療経営実践研究講座[メディカルスタッフ・マネジメントコース]

「実践研究! 『薬剤部門のマネジメント』」

お問い合わせ: ヘルスケア経営学院事務局(TEL: 03-3258-2798)